



Pick Up News

■元旦早々からの大災害。能登半島沖地震で被災された皆様にご心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。2011年3月11日を思い出します。あらためて平穏な日常を営んでいることの有り難みと、災害への備えの重要性、そこに関わる建築学の役割を再確認しました。■建築学部では卒業要件に研修（卒業設計・制作もしくは卒業論文）の取り組み、成果提出と発表が必須となっています。4年間の建築の学びの集大成と言えるものです。テーマをもって研究・設計に取り組み、「論文」や「設計」における作法を学びながら成果をまとめます。論理的・客観的に物事を見つめ、それらを論文は文章や図表で、設計は図面等で表現します。さらに発表・プレゼンテーションを行い質疑に答えます。1月22日が提出日でした。成果をブラッシュアップさせて、発表の準備をして2月7日（論文）と8日（設計）の発表会に臨みます。残りわずかとなった貴重な大学の学び・生活とその時間。最後の頑張りを期待します。■2月17日（土）は建築学部最大のイベントです。1,000名収容の仙台国際センター大ホールはほぼ埋まる予定です。本学建築学科学士生・院生は全員の参加、卒業生・高校生そして一般の方々などすでに350名の申し込みがあります。皆さんにとって記憶に残る時間となれば幸いです。

2.17.建築学部イベント開催迫る！

東北工業大学
東北工業大学建築学部
完成年度を迎え、卒業生が社会へ

プログラム

第1部 13:30～14:30
建築学部完成記念会
東北工業大学建築部4年間の歩み
石井敏 学部長
伊東豊雄 建築設計事務所代表
野澤 謙一 建築設計事務所代表
野島 和世 建築設計事務所代表

第2部 15:00～17:00
卒業論文「これからの建築を考えたよ」
～みんなの卒業論文～
伊東豊雄 妹島和世
近藤智徳

開催概要
日程 2024年2月17日(土)
13:30～17:00 (13:00受付開始)
場所 仙台国際センター大ホール
定員 500名(先着順)
参加費 無料(主賓のみ別途)
対象 だなたもご参加いただけます
東北工業大学建築学部 卒業生・院生
東北工業大学建築学部 関係者
仙台国際センター 関係者
東北工業大学建築学部 関係者
連絡先 東北工業大学建築学部 伊東豊雄
TEL: 022-855-7100
Web: info@tohoku.ac.jp
建築学部ウェブサイト: amh.tohoku.ac.jp

申し込み方法
申し込みは2月22日(木)17時です。

刺繍で描く「木の実の一生」プレゼント

サイズ 縦24x横33.5x厚さ1.5cm

有名な脚本家・芝居一先生の文にあわせたイラストを募集するコンペで建築部学生の提案が採用されました(渡邊金太郎くん)。また、刺繍によりその世界を表現した作品も大いに評価され、読者プレゼントとして採用されました(森麻奈さん)。

森麻奈さんのプロフィール
東北工業大学建築学部
インテリアデザイン専攻
3年生

なみうちぎわ 三ちようめのアサリ

芝居一 脚本
渡邊金太郎 建築部学生
森麻奈 建築部学生

東北工業大学の建築部で、今年「木の実の一生」の高齢者による募集をしたところ、建築部4年生の森麻奈さんは応募してきました。森麻奈さんには、このおもしろい刺繍作品をプレゼントいたします。「子どもの頃から刺繍で遊んでいたため、刺繍にはなじみがありました。刺繍は動物や植物を描くのが好きで、刺繍にもいろいろと得意な制作をしました。刺繍ならではの表現、芝居一先生も感動しています。」

応募方法
応募カードから、住所、氏名等を入手し返信してください。
締切は2月22日(木)17時です。

卒業論文・設計の提出(1/22)がありました。2/7-8の発表会に備えてさらに準備を進めているところです。各授業は課題の提出・発表、定期試験の時期と続き、多くの学生は長い春季の休暇に入ります。1月は学生の学外でのコンペ等での受賞が続いた一ヶ月でした。さて、いよいよ学部最大のイベントが2/17に迫ってきました。全学生参加の行事と位置づけています。よろしくお願います。



Pick Up Lab. 大石研究室

は現在の3年生で5期目となりました。直近の3年間は大学院生が所属してくれており、RhinoとGrasshopperを利用した環境シミュレーションの整備に力を入れています。Rhinoを使って作成した3DモデルはGrasshopperを利用してRadianceによる光環境シミュレーションや、EnergyPlusによる動的熱負荷計算を行うことができます。解析実行のための条件設定やGHスクリプトの構成も整ってきたことから、今後は実建物での検証を行いたいと考えています。コンピュータを利用した環境シミュレーションに興味のある方は、ぜひ研究室に遊びに来てください。その他の研究室活動として、2023年は地熱発電所や県内のゼロエネルギービルの見学などを行いました。



3年G1でツグダツさん
仙台育英学園高校 出身

Pick Up Student

大学入学してから、3年が経っており、自分の進路を考え始めました。海外の普通科から日本に来て、1・2年生の時は多くの困難に直面しました。しかし、先生方や友人たちの助けを借りながらそれらの困難を乗り越え、建築学の知識を身につけることができました。3年後期から福屋研究室に配属され、先輩たちの卒業設計作業を見習いながら、様々なアドバイスも受けました。周囲の作品を見て、自分自身が設計や意匠において知識が不足していると感じ、進学を考えています。進学によって意匠設計の知識をより深め、世界の建築を観察し形態を学び、自分のファンタジー、考え、感情を建築物の形で人々に伝えたいと考えています。

2年 日野 優奈さん
宮城学院高校 出身

Pick Up Student

入学した頃は授業に慣れるのが大変だったものの、この頃では建築の深さや楽しさを感じるようになり、生活リズムにも慣れてきました。普通科出身のため、専門知識が全くないところからのスタートでしたが、友達や先輩、先生の支えにより、何とか今まで乗り越えることができました。所属しているサークルの先輩からアドバイスをいただくことが多く、楽しく充実した時間を過ごしています。2年生後期は特に専門科目が増え、今までに比べて忙しくなったと感じています。設計では、デザインを考えることは好きですが、実際に図面に起こし、プレゼンボードに表現することに難しさを感じています。これからも常に成長し続けていけるよう、頑張っていきたいです。